

公共工事の平準化について

横山 隆一（日本共産党）



市内建設関連企業の経営健全化は、市の活性化・災害非常時には非常に重要な位置づけにある。各企業には、健全な経営・品質確保・優良な納税者となるよう市として連携をすべきである。

【Q】公共工事平準化（早期発注・ゼロ債務）への取り組み状況と課題は。

【A】債務負担行為の活用や積算の前倒し、早期執行の目標設定に取り組んでおり、今後、国の交付金事業等においても債務負担行為の設定可能な事業は積極的に検討していく。

【Q】フレックス工事（柔軟な工期設定）への取り組みは。

【A】本市においては未導入の状況だが、発注者・受注者それぞれのメリット・デメリットを精査し、研究していく。

【Q】市内建設関連企業との意見交換・市内業者優先発注（市内に本店を置く）を明確にする指名基準

を作るべきだが。

【A】例年、建設事業協同組合・下水道組合と意見交換している。今後も連携し実態や意見の把握に努める。

【Q】小規模事業助成制度の実績・充実度は。

【A】小規模修繕の参加登録者数は8社で、令和2年度の実績は66件、約180万円である。

他に「菊川東中で実施された、中部電力社員による「2050年のエネルギー構成についての講座」について質問しました。



男女共同参画事業の更なる推進

坪井 仲治（みどり21）



第4次菊川市男女共同参画プランの策定を控え、菊川市の女性の活躍を更に推進するための施策等について質問した。

【Q】第3次菊川市男女共同参画プランは今年度が最終年度になるが、第3次菊川市男女共同参画プランのこれまでの成果と問題点は何か。

【A】第3次菊川市男女共同参画プランでは、基本理念「女と男がお互いを認め合い、協働して、自分らしく暮らすことができるまち」の実現に向けた取組みを進めてきた。具体的には、市内保育園等の

年長児を対象とした絵本の読み聞かせや、小学3・4年生を対象とした職業講話、中学生を対象とした思春期教育、高校生を対象とした啓発事業等に加え、保育士、教職員、保護者等に対する意識啓発を実施するなど、男女共同参画の視点に立った教育・学習を推進してきた。また、子育て世帯を対象とした講座や講演会等の開催、広報やホームページ等を活用した情報発信など、男女共同参画に関す

る広報及び啓発活動に取り組んできた。このような取組みにより、令和2年度に実施したアンケートでは、成果指標である「男は仕事、女は家庭」という考えについて「反対である」、「どちらかといえば反対である」と答える人の割合は57・4%となり、目標の43%を大きく上回った。

【Q】自治会の運営並びに地域防災対応における女性の参画を推進する施策は。

【A】女性を含めて誰もが自治会役員を担うことができるよう、自治会活動における負担軽減について検討を進めている。また、防災活動への女性の参画については、男女共同参画の視点を含んだ防災活動の必要性を啓発していく。

